

2021年6月25日

責任あるパーム油調達方針 進捗レポート（2020年7月～12月）

不二製油グループは2016年3月に責任あるパーム油調達方針を策定・公表しました。責任あるパーム油調達方針は、当社グループのサプライチェーン上のすべてのパーム油製品についての、森林破壊ゼロ、泥炭地開発ゼロ、搾取ゼロ（NDPE: No Deforestation, No Peatland and No Exploitation）に向けたコミットメントを表明しています。

https://www.fujioilholdings.com/news/2016/_icsFiles/afieldfile/2018/01/12/160310.pdf

責任あるパーム調達方針の進捗について、半年ごとにステークホルダーの皆様に対してお知らせしています。本レポートでは2020年7月以降の新たな進展についての情報を提供しています。

進捗

サマリー

図1に示されるように、不二製油グループは責任あるパーム油調達方針に基づいた取組を実施しています。本レポートでは2020年7月より進捗のある以下の4つの活動について取り上げます。

1. トレーサビリティ

搾油工場までのトレーサビリティ100%を維持し、農園までのトレーサビリティは71%を達成しました。

2. グリーバンス（苦情処理）メカニズム

2021年3月に最新のグリーバンスリストを更新・公表しました。

3. パルマジュ社のサプライチェーン改善活動

A. 変革のための自己評価ツール（T4T: Tools for Transformation）

2020年度は19の直接／間接サプライヤーがT4Tアセスメントを実施しました。

B. “搾取ゼロ”コミットメント実践のためのエンゲージメント（LTP: Labour Transformation Programme）

オンライン上でのエンゲージメントの仕組みを開発するとともに、搾取ゼロに関して1件のサプライヤーとエンゲージメントを進めました。

C. “森林破壊ゼロ”コミットメント実践のためのエンゲージメント

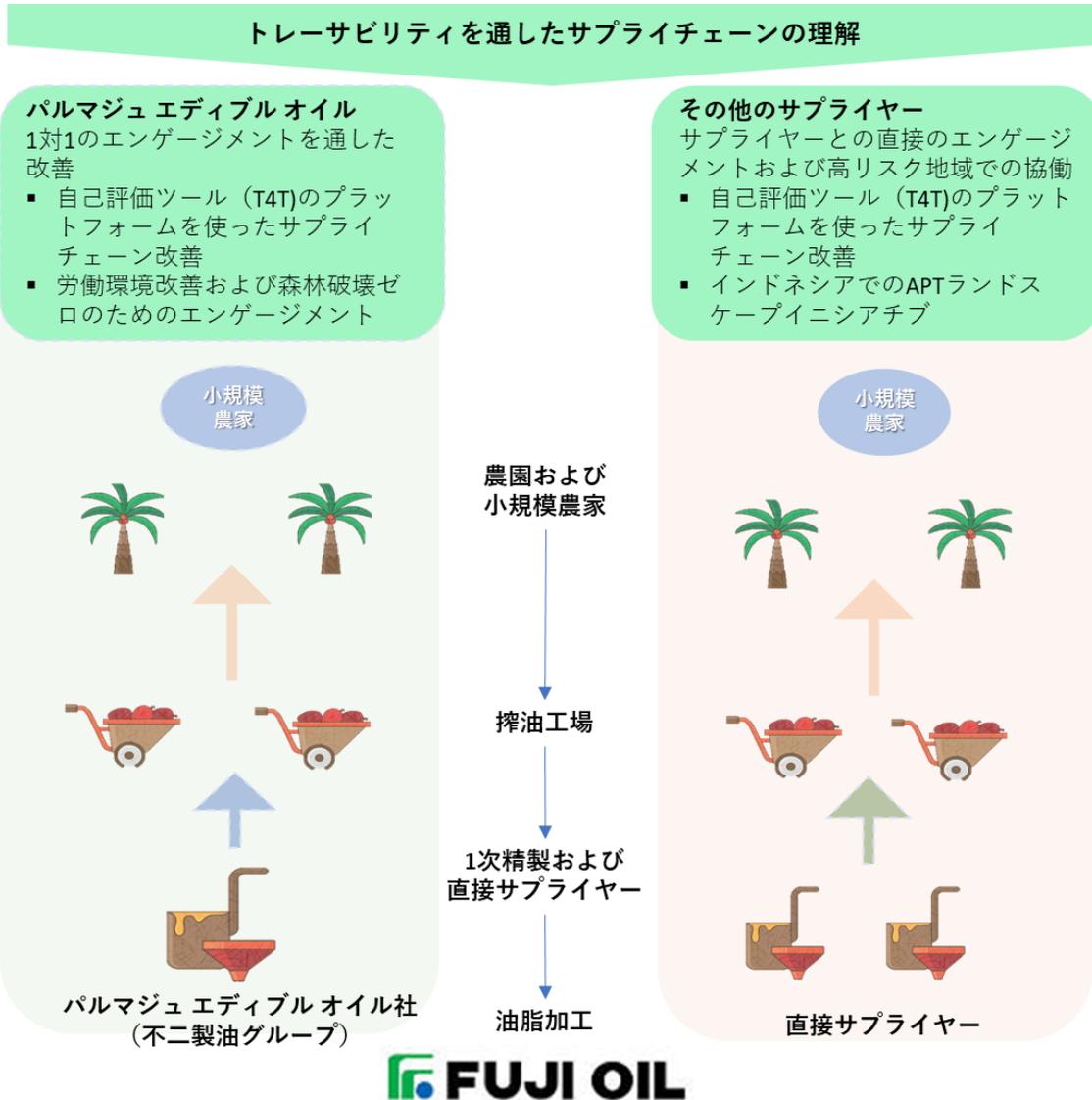
2020年度は1件の搾油工場レベルのエンゲージメントを実施しました。また、マレーシア半島の、パルマジュ社のサプライチェーンの70%（農園と小規模農家を含む）について、2020年12月時点で森林破壊がないことを特定しました。

4. APTランドスケープイニシアチブ（インドネシア スマトラ）

- A. アチエ・タミアン地域の主要機関において新たに就任した地元政府の指導者とエンゲージメントを行い、オンラインでの労働に関する教育の実施についての合意と全面的支援を得ました。
- B. 対象コミュニティに対して新型コロナウイルスの感染拡大に対応するための支援を行いました。
- C. アチエ・タミアンにおいて52%、南アチエにおいて71%の森林破壊の減少を確認しました。
- D. 地域内の94%の農園及び搾油工場に対して、森林破壊ゼロ・泥炭地開発ゼロ・搾取ゼロ（NDPE）方針を提示し、その実施のための研修を行いました。

責任あるパーム油調達方針推進の為に、当社グループは小規模農家、搾油工場、精製工場、そしてサプライヤーと協働して、サプライチェーンの課題の認識と是正に取り組んでいます。

図 1: 不二製油グループ責任あるパーム油調達方針に基づく主要な改善活動の全体像



グリーンバンス管理

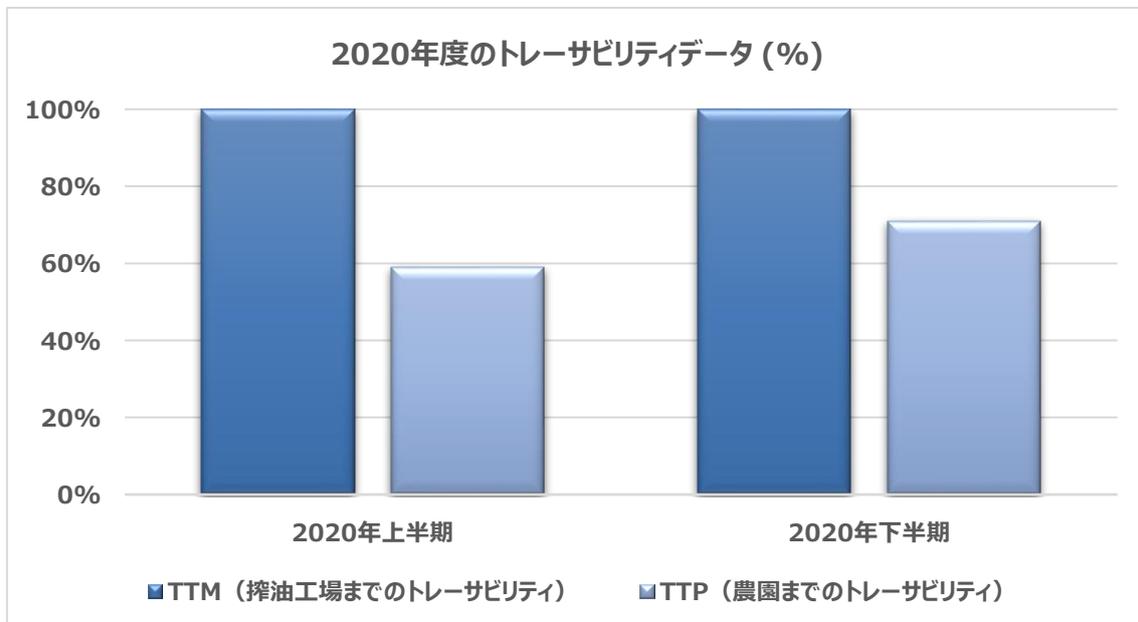


1. トレーサビリティ：図1 不二製油グループサプライチェーン図を参照ください

不二製油グループは、NDPE に順守した透明性のあるサプライチェーンを目指し、不二製油グループ全体で購入・加工するすべてのパーム油について、2020年までに搾油工場までのトレーサビリティを目指しました。

当社グループは、2020年7月から12月の期間においても継続して、搾油工場までのトレーサビリティスコア100%を達成しました。このスコアは、不二製油グループの世界中のすべての事業を網羅しており、パーム油とパーム核油において100%を達成しました。また、グループ全体の、パーム油農園までのトレーサビリティスコアについては、同期間において71%になりました。

図2：2020年度のグローバルでのトレーサビリティスコアの概要



不二製油グループのすべての調達地域および事業活動におけるサプライヤーとのコミュニケーションを強化するための継続的な取り組みにより、トレーサビリティの向上に寄与しています。

不二製油グループは、責任あるパーム油調達方針で表明する通り、サプライチェーンの透明性を高める事に取り組んでいます。今後もトレーサビリティを維持するために、継続してサプライヤーとのエンゲージメントを強化していきます。

結果に関する留意事項

- ・ トレーサビリティレベルは、データの有効性、調達先の変更あるいはその他の問題に伴い変動する場合があります。

- すべてのトレーサビリティの数値は、サプライヤーによって自己開示された情報に基づきます。搾油工場の GPS 座標については、当社グループが直接保有する情報だけではなく、パートナーである国際的な非営利団体の Earthworm Foundation（以下、EF）が保有する情報を使用しております。
- また、一部の搾油工場データに関して、EF と当社グループのサプライヤーの間で秘密保持契約を締結しており、現在当社グループがこのデータを保有する計画を進めております。

2. グリーバンス（苦情処理）メカニズム：図1 グリーバンス管理をご参照ください

当社グループは NDPE（森林破壊ゼロ、泥炭地開発ゼロ、搾取ゼロ）を実行するために、2018年5月にグリーバンスメカニズムを構築・公表しました。グリーバンスプロシージャー（苦情処理手順書）およびグリーバンスリスト（苦情リスト）については以下のリンク先（英文）でご覧いただけます。

https://www.fujioilholdings.com/en/csr/grievance_mechanism/

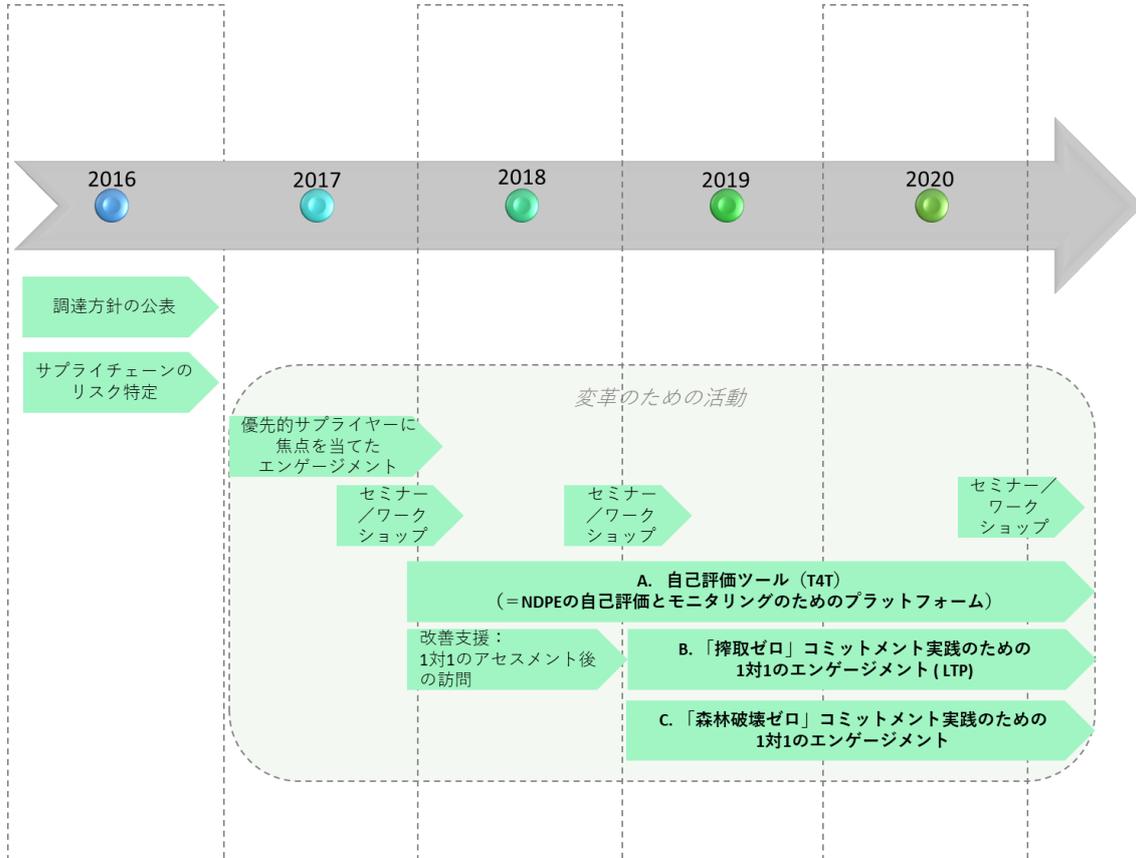
グリーバンスリストは4半期に一度更新されており、最新版は2021年3月に更新されています。当社グループは、さまざまな関係者から提起されたグリーバンスが私たちのコミットメントに従って、サプライヤーへのモニタリング、エンゲージメント、コミュニケーションを行ってまいります。

3. パルマジュ社のサプライチェーン改善活動

2016年7月以降、当社グループは責任あるパーム油調達方針を推進するために、EFと取り組んでいます。当社グループの一次精製会社であるパルマジュ エディブル オイル（以下：パルマジュ社）のサプライチェーンにおいて、粗パーム油(Crude Palm Oil : CPO)とパーム核油(Palm Kernel Oil : PKO)のサプライヤー向け **Aggregator Refinery Transformation (ART)**¹ に着手しています。ART ではサプライチェーン上の精製工場から搾油工場、生産者(農園)における問題点を把握して現地での改善活動を支援してきました。

私たちの ART 活動は、サプライチェーン上における問題点を把握し、改善を行ってきました。活動として、幅広いレベルのエンゲージメント（トレーニングとセミナー）から、自己評価、モニタリング、および1対1のフィールドワーク（現場での対話・働きかけ）を行ってまいります。ART 活動の概要を図3に示しています。

図3 : ART 活動の概要



A. 自己評価ツール (T4T: Tools for Transformation) : NDPE の自己評価とモニタリングのためのプラットフォーム

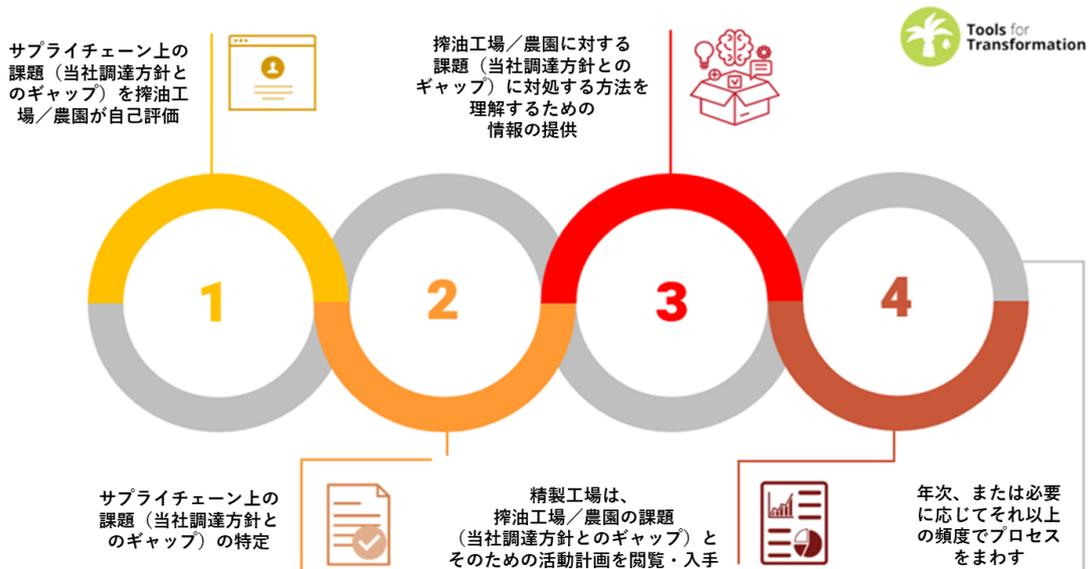
不二製油グループは、変革のための取り組みを拡大し、当社グループのパーム油サプライヤーが、その事業環境と不二製油グループの調達方針の要件 (NDPE : 森林破壊ゼロ、泥炭地開発ゼロ、搾取ゼロ) とのギャップを理解しながら実践を自己評価するための支援をすべく、**自己評価ツール (T4T)**ⁱⁱ⁾ を利用しています。このツールはサプライヤー及び当社グループの双方にとって、当社グループの責任あるパーム油調達方針に対するサプライヤーの現状を把握するのに役立ちます。2019 年以降、T4T にアクションプランの項目を含めました。T4T への回答から判明した問題にサプライヤーが対応する為にアクションプランを提供しています。サプライヤーへのエンゲージメントは図4のプロセスにのっとり実施されています。

図5 に示すように、搾油工場と農園による自己評価ツールの取り組み件数も 2018 年以降増えており、サプライヤーが当社グループの取り組みに賛同・協力しています。2020 年には 19 社のサプライヤーが T4T アセスメントを完了しました。

2020 年下半期においても、パルマジュ社のサプライヤーにて進捗状況と調達方針とのギャップを把握し、自己評価ツールの更新を継続しました。T4T の取組みで集約したデータをもとに、主要な調査結果について最終レ

ポートを作成する予定です。当社グループは引き続き、エンゲージメントを通じて、サプライヤーのNDPEのコミットメントを支援します。

図4：自己評価ツール (T4T) のプロセス



※本図は、Earthworm Foundationから提供された図に基づいて、不二製油グループ本社株式会社で仮訳したものです。

図5：2018年～2020年においてT4Tアセスメントを実施したサプライヤーの総数

		2018年	2019年	2020年
パルマジュ社のサプライヤー	搾油工場	7	8	7
	農園	5	10	5
パルマジュ社の間接サプライヤー	搾油工場	0	14	10
	農園	0	11	0

B. “搾取ゼロ”コミットメント実践のための1対1のエンゲージメント [LTP]

「自己評価ツール」を通して、特に産業界における労働慣行と基準の改善に向けた取り組み強化の必要性を明確に把握することが出来ました。当社グループは、パーム油サプライチェーン上における強制労働を無くす必要性を認識しています。これは、NDPEを進める上での優先事項です。T4Tは、中小事業者が強制労働の緩和に向けた改善活動を行うために有用です。

2020年上半期、不二製油グループは“搾取ゼロ”コミットメントを実践するために、継続して主要なサプライヤーへの1対1でのエンゲージメントを強化しました。特にパルマジュ社における労働環境改善プログラム (LTP)ⁱⁱⁱは、雇用契約、賃金・労働時間、苦情処理メカニズム、移動の自由、結社の自由、移民労働者の採用プ

ロセス、安全衛生、適切な宿舍の提供等、特定の搾取リスクに対処するものです。

従来のフィールドアセスメントとは異なり、LTPは、抽出した問題点に関する分析に基づいて、サプライヤーごとに労働慣行改善を支援することに焦点を当てています。このような取組により、サプライヤーがNDPEに準拠していくことを目指します。

2020年にパルマジュ社のサプライチェーン内の主要な企業2社とのLTPエンゲージメントが計画されていましたが、訪問は2020年の下半期に行われる予定でしたが、マレーシア全土での新型コロナウイルスの継続的な流行により、現地訪問と評価を完了することができませんでした。

当社グループはサプライヤーと緊密に連携しながら、現在、オンライン形式でのエンゲージメントを通して訪問することを検討しています。新型コロナウイルスの感染拡大の影響により制限がある中で、この代替となるエンゲージメントの方法により評価を完了することが可能になります。当社グループとEFが開発したオンラインでのエンゲージメントの仕組みを、現在1社のサプライヤーに対して試行しており、次なるサプライヤーに対しても提供を開始していくために有効な結果を得ています。

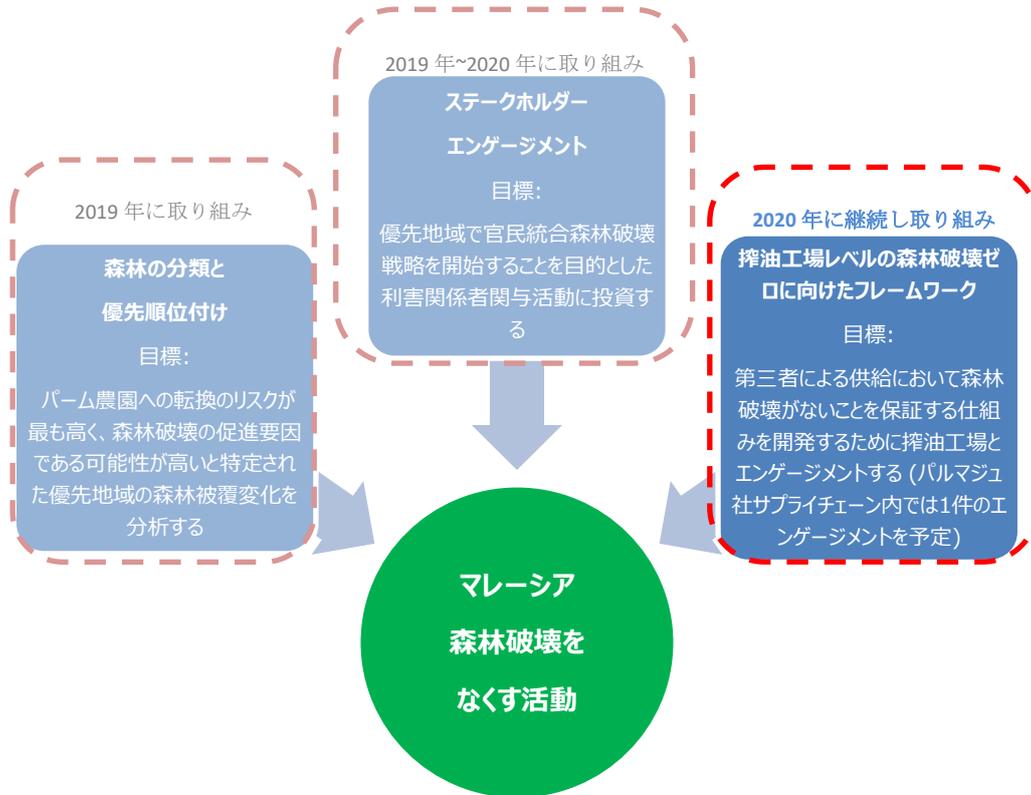
パルマジュ社の直接サプライヤーの86%、間接サプライヤーの25%がこのLTP活動にすでに参画しています。当社グループは、2025年までに、パルマジュ社の全サプライヤーへ労働環境改善プログラム適用完了という目標を達成するために、引き続き最善を尽くします。

C. “森林破壊ゼロ”コミットメント実践のための1対1のエンゲージメント

当社グループでは、責任あるパーム油調達方針を指針として、サプライチェーン上の森林破壊ゼロや泥炭地開発ゼロの実現を目指しています。これらを達成するために、サステナビリティに関するパートナーや他の業界関係者と協力して、マレーシアでの森林破壊を無くす戦略を策定しています。

これらの活動は、サステナビリティに関するパートナーであるEFとともに取り組んできました。図6に示す活動は、森林破壊への影響を最大化し、森林破壊ゼロのコミットメントと方針を、官民双方の関与を目的とした二本柱の戦略の両側面に基づいて効率的に実施することを目的としています。

図 6: 森林破壊ゼロ戦略 活動と目標



2020年も、当社グループは、農園までのトレーサビリティ向上のためのより良いプロセスを構築するという目標を達成するため、継続して搾油工場レベルでの森林破壊ゼロのためのエンゲージメントに注力することを目指しました。

搾油工場レベルでの森林破壊ゼロのためのエンゲージメント：

搾油工場レベルでの森林破壊ゼロのためのエンゲージメントは、パーム果房（FFB：Fresh Fruit Bunches）が森林破壊のない場所から調達されることを保証する目的で、CPO サプライヤーに働きかけるものとして設計されています。また、関係する FFB 仲買人と交流し、追加の農園までのトレーサビリティ（TTP：Traceability to Plantation）情報を収集する機会でもあります。

2 件のエンゲージメントが予定されていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、特定した場所に対して 1 回の訪問のみの実施となりました。

これまでのところ、このエンゲージメントの成果は、訪問した搾油工場と農園、および当社グループと EF の双方にとって、参画する様々な関係者が直面している課題を理解するうえで非常に役立ちました。この取り組みは、FFB（Fresh Fruit Bunch）仲買人や小規模農家など、すべての関係者が問題の認識を深める機会でもありました。

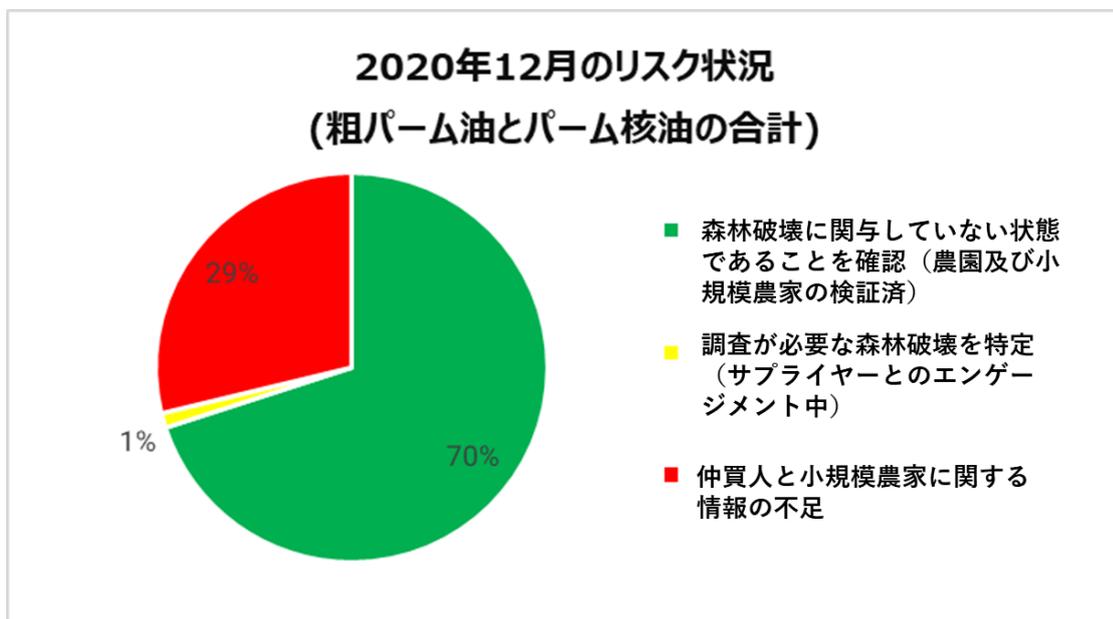
訪問と話し合いを通して、仲買人や農園は、農園までのトレーサビリティ (TTP) のデータの収集方法をより理解すると同時に、森林破壊の発生可能性を判断および検証し、パルマジュ社のサプライチェーンが実際に森林破壊ゼロであることを確認しました。

新型コロナウイルスに関連する移動制限の影響をふまえ、EF はバーチャルエンゲージメントモデルを開発しました。このアイデアは、2021 年の残りの活動のために施行され、実装される予定です。2021 年の新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、現場での改善が難航することも想定されることから、このバーチャルエンゲージメントモデルは今後の取り組みに役立つ可能性があると考えています。

検証された森林破壊ゼロの成果：

EF やその他のステークホルダーとの協業により、当社グループは、マレーシア半島の、当社グループ会社であるパルマジュ社のサプライチェーン (農園と小規模農家を含む) 上の 70% が森林破壊に関与していない状態であることを確認しました。不二製油グループは、農園までのトレーサビリティを継続的に改善し、100% 森林破壊ゼロのコミットメントを検証し達成することを目指します。

図 7：パルマジュ社サプライチェーンにおける森林破壊モニタリング & 検証結果



4. APT ランドスケープ イニシアチブ インドネシア：図 1 サプライヤーの活動を参照下さい

当社グループの調達先の約 38% はインドネシアからのものであり、インドネシアは依然として当社のサプライチェーンの主要な供給源です。

当社グループは、森林破壊を低減し、農作物調達にかかる生産・自然の保護・適切な社会および労働慣行のバランスを保つことの実現可能性を示すために、**APT ランドスケープ イニシアチブ（Areas for Priority Transformation : APT）**^{iv}に2018年より参画しています。

世界が新型コロナウイルス（COVID 19）の流行のなか、EFのAPTランドスケープイニシアチブの現場チームにより、2020年7月から2020年12月の間に、アチェ・タミアンと南アチェに関係するすべてのステークホルダーとのエンゲージメントについて以下の順調な進展がありました。

- 地域開発公社（Bappeda）を含むアチェ・タミアンの主要機関で新たに任命された指導者と、他の主要な地域関係者および地方の人材派遣会社（Dinas Tenaga Kerja）と協力して、政府の全面的な支援とバーチャルでの労働トレーニングの実施に関する合意を得ました。この労働トレーニングは、地域のパーム油産業、地方自治体、地元の労働者グループが、臨時労働者や無給の家族労働などのデリケートな労働問題に協力して取り組むことを支援します。
- 対象コミュニティへの新型コロナウイルスの感染防止を支援しました。APTランドスケープイニシアチブの連合は、地方自治体との緊密な連携により、多くの個人用保護具と清掃用具を寄付しました。
- アチェ・タミアンと南アチェの森林破壊の減少傾向を確認しました。（図8に記載の通り、基準年である2016年と比較し、2020年はアチェ・タミアンで52%、南アチェで71%の森林破壊が減少しています。）
- アチェ南部の地域の中で、これまで最も課題のあった企業のうちの1社が森林破壊ゼロのコミットメントを採択したことを確認しました
- マルチステークホルダーを対象とした、臨時労働者や無給の家族労働者の問題に関するバーチャルトレーニングを組成しました。2019年にアチェ・タミアン政府と共同開発した集団行動計画（Collective Action Plan）を推進するワークショップを、地域内の20社に行いました。

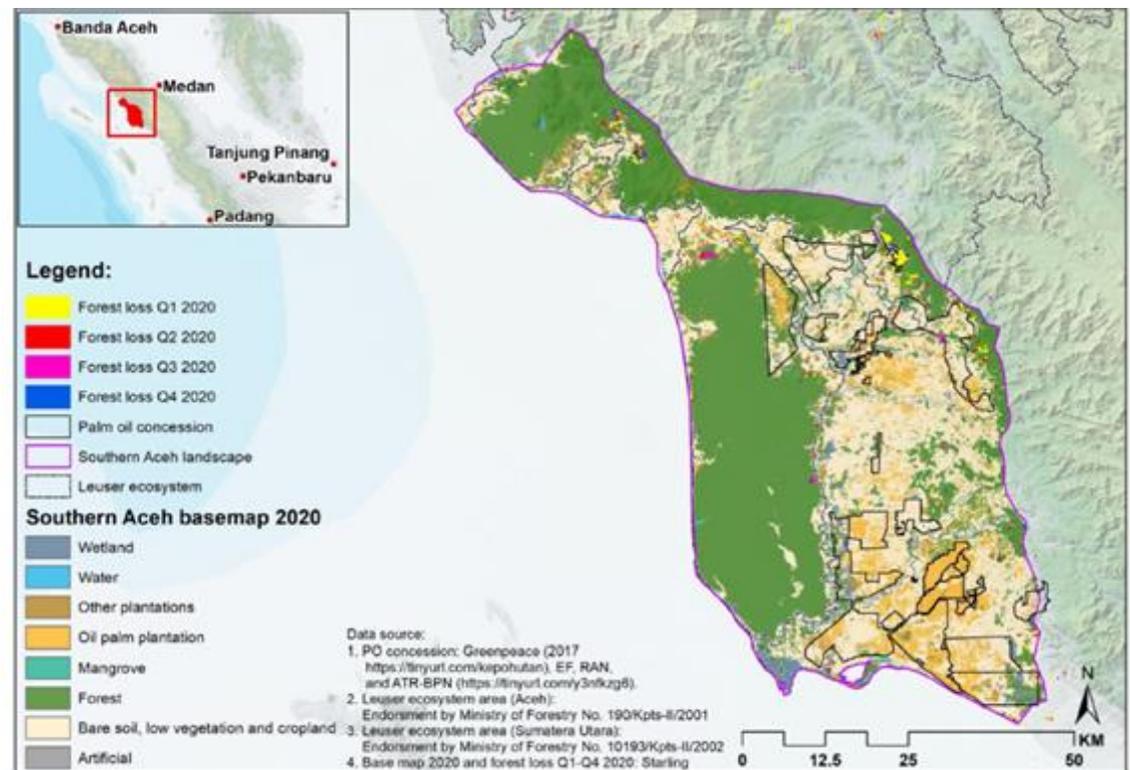
図8: APTランドスケープイニシアチブ開始以降の森林破壊の減少状況

森林破壊の面積 (ha)	2016年 (基準年)	2019年	2020年	森林破壊の減少率 (%)
アチェ・タミアン	713	236	342	52%
南アチェ	3807	1203	1104	71%

図9：アチエ・タミアン、南アチエ地域の所在地



図10：衛星写真を使って森林破壊を監視（南アチエの例）



Next Steps

2021年度も当社グループは責任ある調達方針のための取り組みを推進します。新型コロナウイルスの感染拡大の状況により現地での作業が中断せざるを得ない状況の中ではありますが、当社グループは今年の計画を達成できるようにするためのイノベーションに最善を尽くします。

当社グループは、サプライチェーン全体で責任ある調達方針のための戦略が確実に実践されるように注力しています。森林破壊ゼロの目的を達成するためには FFB の供給がどこから来ているのかを理解することが重要であると認識しており、農園までのトレーサビリティは、取り組みを強化する分野の1つです。

自己評価ツールを活用して、引き続きサプライヤーと協力していきます。このツールは、サプライヤーとのギャップや年間の進捗状況、必要な支援の把握に役立ちます。これらの把握により、サプライヤーとのエンゲージメントをスムーズに行う事が出来ます。

今年予定している主要サプライヤーとの「1対1のフィールドエンゲージメント」は、業界の要望をより良く理解する機会を提供し、“搾取ゼロ”“森林破壊ゼロ”の取組やトレーサビリティの向上に関するガバナンスをサプライヤー自身が持つように働きかけます。

当社グループは、苦情のレビューと対応を継続することを約束すると共に、専用のダッシュボード（サプライチェーンデータベースのWEBサイト）上で、グリーンバンスリスト（4半期に1度）、サプライチェーンデータおよびトレーサビリティスコア（半年毎）を定期的に更新します。

ⁱ **Aggregator Refinery Transformation** : 当社グループの方針とパルマジュ社のサプライチェーンの現状とのギャップを埋める活動の呼称。詳細は以下 URL をご参照下さい（英語）

<https://www.earthworm.org/news-stories/art-episode-1-how-tft-works-in-palm-oil-an-introduction-to-the-art-plan>

<https://www.earthworm.org/news-stories/art-episode-2-traceability-getting-to-the-heart-of-things>

<https://www.earthworm.org/news-stories/art-episode-3-mpp-plotting-the-road-map>

ⁱⁱ **T4T (Tools for Transformation)** : Earthworm Foundation によって作成および管理されているオンラインシステムであり、パーム油精製所がサプライヤーと協力して現場での慣行を改善し、進捗状況を報告できるようにするものです。本システムでは、デジタルテクノロジーの力を使用して、大量のサステナビリティに関するデータを転送および収集し、自動的に行動計画を生成し、事業慣行とノウハウを結びつけることで、現場で段階的な変革を実現します。

ⁱⁱⁱ **労働環境改善プログラム (Labour Transformation Programme : LTP)** : 2019年に Earthworm Foundation によって開発された、主要な労働問題を中心とした変革に焦点を当てた、サプライヤーエンゲージメントイニシアチブです。

^{iv} **APT ランドスケープ イニシアチブ (Areas for Priority Transformation : APT)** : 優先的に改善すべきエリアのためのイニシアチブの呼称。詳細は以下 URL をご参照下さい（英語）

<https://www.earthworm.org/our-work/projects/aceh-tamiang-sumatra-indonesia>

<https://www.earthworm.org/news-stories/tft-and-aceh-tamiangs-local-government-gearup-to-support-smallholders-and-protect-forests>